

授業展開例（作業学習〔応用〕）

1 校種・学年 特別支援学校 高等部第3学年単一障害学級類型I

2 単元名：「清掃技能を身に付けよう ～スクイージーの技能を身に付けよう～」
※スクイージー：ゴム製のブレードでガラス表面の水分を取り除く道具

3 単元設定の理由

(1) 生徒観 〈省略〉

(2) 単元観

作業学習（応用）の授業は、広島県特別支援学校技能検定の受検に向けて取り組むことを通して、働くことへの意欲や技能の向上、社会人としてのマナーの向上、自立心、向上心をはぐくむこと等をねらいとしている。清掃技能検定の学習は手順を繰り返して取り組めるため、生徒も何ができて何ができなかったかということを理解しやすい。さらに、指導者の模範試技や他の生徒の動きを見ることができるため、より明確に目的を把握しやすい。

各生徒が広島県特別支援学校技能検定においてより高い級を認定されることが目標の一つであるが、それだけではなく、作業を手順に沿って行い、できない点を改善しようと努力することで、卒業後の一般就労へ向けに必要な技能や態度を身に付けることができると考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、技能検定の手順を覚え、自立心をもって最後までやりきることができるよう、支援は見守りを基本としている。**その中で8人の生徒が他の生徒の試技を見て、一人でできるようになったことなどを互いに評価し合うことができる場面を設定し、試技に対しての気付きや感想を出し合うようにしている。これにより生徒に自己存在感を持たせるとともに、他の生徒を認め、尊重しようとする意識を育てたい。また、自由に発言できる雰囲気作りを行い、他の生徒に配慮しながら的確に指摘し合うことなどで、共感的人間関係を育成したい。**

社会人として必要なマナーや態度の指導は、技能検定で特に課題として挙げられている大きな声を出すことや、きびきびした態度をとること、言葉遣いやあいさつなどについて重点的に取り上げ指導する。また、本単元のみならず日常生活を含めすべての教科等の中で取り組み、定着を図る。

4 単元の目標

- ・道具の使い方や手順を守って清掃することができる。
- ・広島県特別支援学校技能検定（清掃分野）に向けて手順どおりに覚え、自分の力で作業することができる。
- ・他の生徒の試技や活動を注意深く観察し、評価、感想を述べることができる。

5 指導計画 〈省略〉

6 本時の目標

(1) 全体の目標

- ・スクイージーの手順を覚え、自分の力で最後までやりきることができる。
- ・他の生徒の試技を観察して評価し、感想を述べることができる。

(2) 個人の目標

生徒	これまでの様子	本時の目標
A	手順を覚えるのに時間がかかるが、繰り返し行うことで大まかな手順は覚えている。	資機材の準備を確実に行うことができ、スクイージーの操作を確実に行うことができる。
B	大体の手順は覚えているが、細かい部分まで一人で行うことが難しい。	黄色タオルの絞り加減を考え、丁寧に窓ガラスを拭くことができる。
C	ほぼ全部の工程を覚えており、最後まで自分の力で行うことができている。	スクイージーの使用を確実に行うとともに、その都度スクイージーを拭く等の細かい作業を確実に行うことができる。
D	ほぼ全部の工程を覚えており、最後まで自分の力で行うことができている。	スクイージーの使用を確実に行うとともに、その都度スクイージーを拭く等の細かい作業を確実に行うことができる。
E	大体の手順は覚えているが、細かい部分では声かけ等の支援が必要である。	黄色タオルで拭く際に丁寧に隅々まで拭くことができる。
F	ほぼ全部の工程を覚えており、最後まで自分の力で行うことができるが雑になりやすい。	すべての工程をゆっくりと丁寧に行うことができる。
G	大体の手順は覚えているが、細かい部分では声かけ等の支援が必要である。	スクイージーの使用を確実に行うとともに、その都度スクイージーを拭く等の細かい作業を確実に行うことができる。
H	手順を覚えるのに時間がかかるが、繰り返し行うことで大まかな手順は覚えている。	資機材の準備を確実に行うことができ、スクイージーの操作を確実に行うことができる。

(3) 人権教育の視点

- ・ 試技に対しての気付きや感想を出し合うことで、他者から学び、尊重する意識を高めるとともに、試技を行った生徒が自己を肯定的にとらえる意識や態度を育てる。
- ・ 互いに配慮しながら指摘しあうことで、課題を克服しようとする意欲を高めるとともに共感的人間関係を育成する。

7 準備物

タオル4色(白, 黄, 赤, 青)各3枚, スクイージー5本, システムバケツ2個, 作業表示板1個マット1枚, 検定用窓枠1台, 幅木(4m×4m)1セット, 検定用評価表, 生徒用評価表

8 学習過程

過程	時間	学習活動	指導上の留意点 (□課題, ○支援, ☆評価, ◎評価方法)			
			A	B	C	全体
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 本時の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れを説明し、試技の順番を決める。 ◎注意点を板書し、意識することを促す。 ◎試技する生徒の今日の目標を提示し、確認する。
展開	40分	<ul style="list-style-type: none"> 順番にスクイージーの試技を行う。 他の生徒の試技をしっかりと観察し、気付いたことを評価表に記入する。 生徒の試技終了後に、気づきや感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で名前を言うことができる。 資料の準備を確実に行うことができる。 他の生徒の試技を集中して見ることができる。(T2がそばに来て支援を行う) <p>○他の生徒の試技をしっかりと見るように声かけ等をする。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に窓ガラスを拭くことができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 分からないときは自分でたずねることができる。 <p>○質問があった場合は、模範の試技を見せる。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スクイージーの操作を確実に行うことができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 手順どおりに試技を行うことができる。 <p>○質問があった場合は、模範の試技を見せる。</p> <p>☆すべての工程を集中して丁寧に活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動きが止まってしまう生徒を次の作業に導くようサインを出したり、言葉かけを行ったりするが、自発的な行動が出るまで見守ることを基本とする。 ◎試技を観察して、改善点だけでなくよい点も見つけ評価することを確認する。(T2:試技をしている生徒の様子を注意深く観察することを指す) ◎一人一人が自由に発言できる雰囲気作りを行う。 ◎他の生徒の試技の良さに気づき、学ぼうとする態度を養う。 ◎指導者が具体的な動きを示しながら振り返りを行う。
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容を知る。 あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の授業内容を具体的に示し見通しを持たせる。

過程	時間	学習活動	指導上の留意点 (□課題, ○支援, ☆評価, ◎評価方法)			
			D	E	F	全体
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 本時の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話聞くことができる。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れを説明し、試技の順番を決める。 <p>○注意点を板書し、意識することを促す。</p> <p>○試技する生徒の今日の目標を提示し、確認する。</p>
展開	40分	<ul style="list-style-type: none"> 順番にスクイージーの試技を行う。 他の生徒の試技をしっかりと観察し、気付いたことを評価表に記入する。 生徒の試技終了後に、気づきや感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> スクイージーの操作を確実に行うことができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 スクイージーをその都度拭くなど、試技を確実に行うことができる。 <p>○他の生徒の試技をしっかりと見るように声かけ等をする。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 拭き作業を隅々まで丁寧にすることができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 タオルで窓ガラスをゆっくり拭くなど試技を確実に行うことができる。 <p>○質問があった場合は、サイン、言葉かけを行う。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと手順どおりに取り組むことができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 雑言らず、丁寧に試技を行うことができる。 <p>○質問があった場合は、サイン、言葉かけを行う。</p> <p>☆すべての工程を集中して丁寧に活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<p>○動きが止まってしまう生徒を次の作業に導くようサインを出したり、言葉かけを行ったりするが、自発的な行動が出るまで見守ることを基本とする。</p> <p>○試技を観察して、改善点だけでなくよい点も見つけ評価することを確認する。</p> <p>(T2:試技している生徒の様子を注意深く観察することを指示)</p> <p>○一人一人が自由に発言できる雰囲気作りを行う。</p> <p>○他の生徒の試技の良さに気づき、学ぼうとする態度を養う。</p> <p>○指導者が具体的な動きを示しながら振り返りを行う。</p>
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容を知る。 あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 回次の授業内容を具体的に示し見通しを持たせる。

過程	時間	学習活動	指導上の留意点 (□課題, ○支援, ☆評価, ◎評価方法)			
			G	H		全体
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ 本時の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話が聞ける。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中してT1の話が聞ける。 <p>☆話の内容を質問し、説明の内容を答えることができる。</p> <p>◎説明の内容を正しく答えることができたか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 本時の流れを説明し、試技の順番を決める。 ○注意点を板書し、意識することを促す。 ○試技する生徒の今日の目標を提示し、確認する。
展開	40分	<ul style="list-style-type: none"> 順番にスクイージーの試技を行う。 他の生徒の試技をしっかりと観察し、気付いたことを評価表に記入する。 生徒の試技終了後に、気づきや感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> スクイージーの操作を手順どおりに行うことができる。 最後まで自分の力で行うことができる。 丁寧に試技を行うことができる。 他の生徒の試技をよく見る。 <p>○他の生徒の試技をしっかりと見るように声かけ等をする。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で名前を言うことができる。 スクイージーの操作を確実に行うことができる。 他の人の試技をよく見る。 <p>○質問があった場合は、サイン、言葉かけを行う。</p> <p>☆一つ一つの工程を集中して活動することができたか。</p> <p>☆他の生徒の試技をしっかりと見て、評価を言うことができたか。</p> <p>◎行動観察を行い、本人と振り返りを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○動きが止まってしまう生徒を次の作業に導くようサインを出したり、言葉かけを行ったりするが、自発的な行動が出るまで見守ることを基本とする。 ○試技を観察して、改善点だけでなくよい点も見つけ評価することを確認する。 (T2:試技している生徒の様子を注意深く観察することを指す) ○一人一人が自由に発言できる雰囲気作りを行う。 ○他の生徒の試技の良さに気づき、学ぼうとする態度を養う。 ○指導者が具体的な動きを示しながら振り返りを行う。
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容を知る。 あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の内容に見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回の授業内容を具体的に示し見通しを持たせる。

9 評価の観点

- (1) 目標設定は適切であったか。
- (2) 生徒が主体的に活動していたか。
- (3) 支援の手立ては適切であったか。
- (4) 本時の目標は達成されたか。

10 年間指導計画

(1) ねらい

- ・職業生活に必要な基礎的な能力を高める。
- ・課題に沿った様々な作業を経験することで、道具の使い方を習得し、自信と責任を持って担当する作業を行う力を高める。

(2) 計画 (省略)

11 教室配置図

